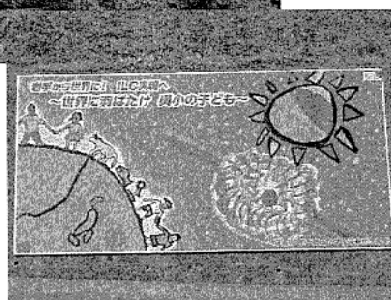


奥玉地区地域づくり計画書

“笑顔と自然” あふれる奥玉
～守り・創り・育てる～



平成28年12月

奥玉振興協議会

目次

挨拶	1
はじめに	2
1 計画の目的	3
2 計画の期間	3
3 地域の状況	3
(1) 地勢、歴史	3
(2) 人口、世帯数の推移	3
(3) 行政区別、年代別人口	4
(4) 人口ピラミッド	5
(5) 将来人口予測	6
(6) 地域の特徴等	6
4 地域の将来像	7
5 地域づくりの基本方針	7
(1) スローガン	7
(2) 基本計画	7
6 分野別の目標と具体的な取り組み	8
7 事業実施計画	8
(別表：分野別目標と具体的な取り組み)	
(1) 産業・雇用・生活	9
(2) バス・交通対策	11
(3) 道路・情報通信	12
(4) 生活環境・景観	13
(5) 子育て・結婚対策	14
(6) 教育・文化	15
(7) 地域づくり・交流	16
(8) 高齢者福祉	18
(9) 健康・医療	19
(10) 防災・地域安全	20
各種資料	
(1) 奥玉振興協議会規約	21
(2) 奥玉振興協議会役員・運営委員・構成員名簿	23
(3) 奥玉振興協議会の地域協働体登録とその後の経過	25
(4) 住民アンケートの集計結果（概要）	27
・一般分の概要と集計グラフ	
・小中学生分の集計結果	
・奥玉郷友会分の集計結果	
(5) 奥玉地区地域づくり計画策定検討委員名簿	36
(6) 生涯学習推進員名簿	36
(7) 奥玉地区地域協働推進チーム員名簿	36

挨拶

このたび、奥玉振興協議会では「奥玉地区地域づくり計画書」を策定いたしました。

奥玉振興協議会は、昭和61年1月に設立され、各自治会、各種団体等の相互連携を図りながら、自治振興や地域づくり活動を継続して参りました。平成25年6月4日付けで一関市に地域協働体として届け出を行いました。

一関市が推進する「地域協働のまちづくり」の考え方は、これまで奥玉振興協議会が長年取り組んできた地域づくりの方策と一致するものであります。計画策定に当たりましては、活動の見直しを基に、小学校5年生以上の全住民を対象としたアンケート調査を実施し、各自治会から推薦された地域づくり計画策定検討委員の方々が中心となり、また生涯学習推進員の協力のもと検討会議（通称：あらたま談義）を開催し策定を進めて来ました。

「笑顔と自然あふれる奥玉～守り・創り・育てる～」をスローガンとするものです。

地域づくりの主体は私たち一人ひとりです。この計画書には奥玉地区の皆さんや奥玉地区出身者のふるさと会「奥玉郷友会」の皆さんの考えや思いが込められております。それぞれが、「笑顔と自然豊かな奥玉」のさらなる活性化を目指し努力していきたいと思っておりますので、なお一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成28年12月

奥玉振興協議会

会長 藤原 幸夫



はじめに

これまでの経過

幾多の先人の英知と努力により培われた「豊潤あらたまの郷土」奥玉地区は、昭和61年1月に設立された奥玉振興協議会が中心となり、各自治会や各種団体等と相互連携を図りながら、地区民の福利増進や地域の発展に寄与することを目的に地域づくり活動を推進して参りました。

しかし、少子・高齢化や人口減少など社会情勢の変化により地域活動の基本となる地域コミュニティの維持は年々難しくなっています。

このような状況を踏まえ、奥玉振興協議会では、地域と行政が一体となった「協働のまちづくり」を主体的に進めるため、平成25年6月一関市に地域協働体として届け出を行いました。

その後、地域づくり講演会や研修会などを重ね、平成28年度総会において、今後の地域づくり活動の方向性について、みんなで考えを出し合い、明確にするために「奥玉地区地域づくり計画」の策定に取り組むこととなりました。

地域づくり計画は、自分たちの住んでいる地域の再発見と併せ、幅広く地域住民の意見や希望、地域課題を整理しながら、その解決に向けた取り組みを行動計画としてまとめるものです。

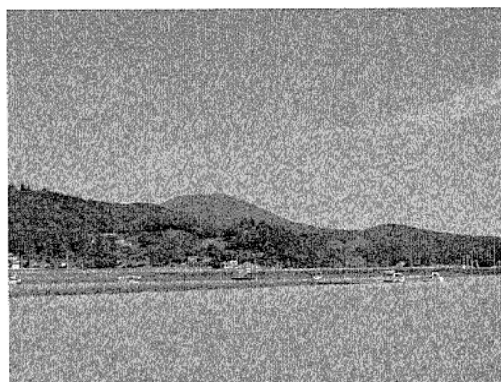
計画策定の進め方

計画策定に当たっては、多くの意見や考えを反映させるために、小学校5年生以上の全住民を対象としたアンケート調査を実施しました。その回収率は77.1%となり、自由記載による意見や提言は延べ1,000件近くに及びました。

また、奥玉地区出身者で組織されているふるさと会「奥玉郷友会」の皆様にもアンケート調査にご協力いただきました。

これらのアンケートの集計結果やこれまでの検討資料を基に、奥玉地区の現状と課題を分類・整理し、それらの課題解決に向けた取り組み策を各分野別に導き出す方法により、計画策定検討委員会が中心となりワークショップ形式の検討協議が今年度8回重ねられました。

「豊かな自然と笑顔あふれる」より暮らしやすい奥玉地区を創造するための指針となるようこの計画を策定するものです。



※ 「地域協働」とは、「地域の自治会や各種団体、市民、民間事業者など多様な主体が、一定の地域において互いに、または行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割を分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めること」をいいます。

これらの幅広い地域づくり活動や公共的課題の解決に取り組む「地域コミュニティの代表組織」が「地域協働体」です。

1 計画の目的

奥玉地区に住んでいる私たちが、地域の現状と課題を認識し、奥玉地区の将来がどうあるべきかを共に考え、みんなで話し合いながら実践するためにこの計画を策定します。

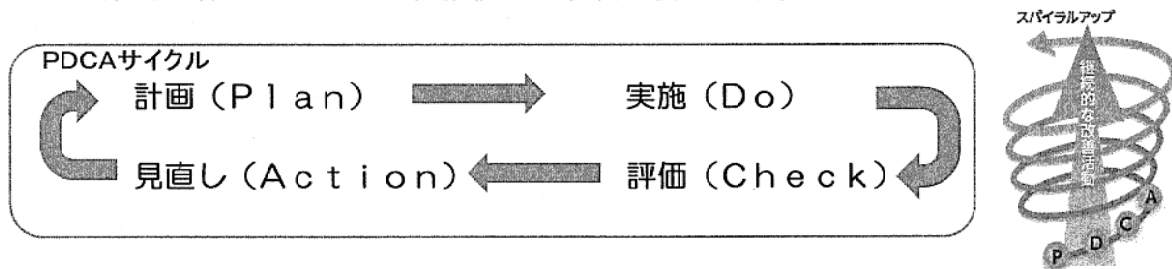
具体的な事業展開にあたっては、行政並びに各自治会や構成団体等とも緊密な連携を取り、適切な役割分担を図りながら取り組んでいくものとします。

また、この計画は、奥玉地区のみんなが情報を共有し、奥玉地区に住む一人ひとりの主体的な参加と協力により推進するものとします。

2 計画の期間

この計画の期間は、平成28年度を初年度とし、平成37年度までの10年間とします。ただし、社会情勢の変化に応じ随時見直しを行うこととします。

また、計画の推進にあたっては、下図の4つの循環（通称：PDCAサイクル）を定期的に繰り返しながら、継続的な改善に努めます。



3 地域の状況

(1) 地勢・歴史

奥玉地区は、一関市千厩町の北東部に位置し、面積は約30km²で旧千厩町の面積の約三分の一を占めています。秀峰室根山（標高895m）を主峰とし、南北に向かって二つの支脈が出て西に向かい、その間に盆地を形成しています。室根山を源流とする千厩川（弓手川）の流域は肥沃な田園地帯が広がり、気候は一般に温和で、稲作農業を中心とした畜産、園芸などの複合経営が行われています。

歴史は、明治12年1月19日町村編成法施行により大上奥玉村、上奥玉村、中奥玉村、下奥玉村の四村が合併し奥玉村となり現在の奥玉地区となっています。

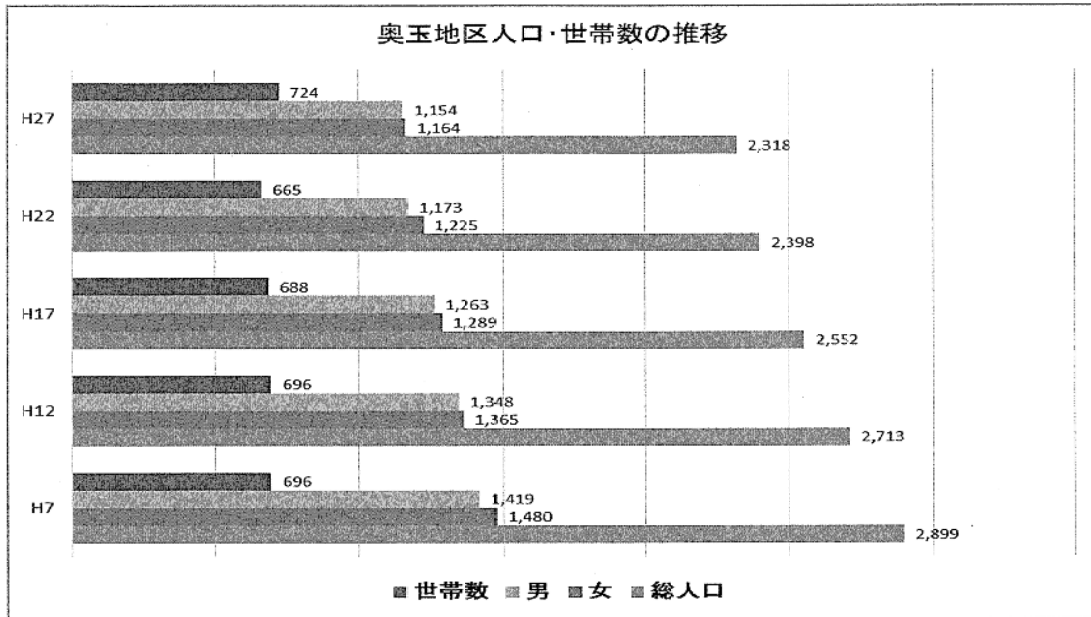
奥玉村が歴史に登場するのは神亀3年（726年）に鶴峯（現大東町摺沢）から出土した水晶を大野東人に献上したことが始めであり、興玉（のちに転訛し奥玉）となり地名由来となったと伝えられています。

(2) 人口、世帯数の推移

奥玉地区は、千厩14区から21区までの8行政区からなり、平成28年3月31日現在の世帯数は、724世帯、人口は、2,277人（男1,132人、女1,145人）となっています。

高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は、48.13%、少子率（総人口に占める14歳以下の割合）は、9.75%となり、将来的にも人口減少と少子高齢化が進むことが予想されます。

奥玉地区の人口・世帯数の推移（平成7年から5年ごとの推移）



	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
世帯数（戸）	696	696	688	665	724
男（人）	1,419	1,348	1,263	1,173	1,154
女（人）	1,480	1,365	1,289	1,225	1,164
総人口（人）	2,899	2,713	2,552	2,398	2,318

（各年3月31日現在）

(3) 行政区別、年代別人口

奥玉地区年齢別人口

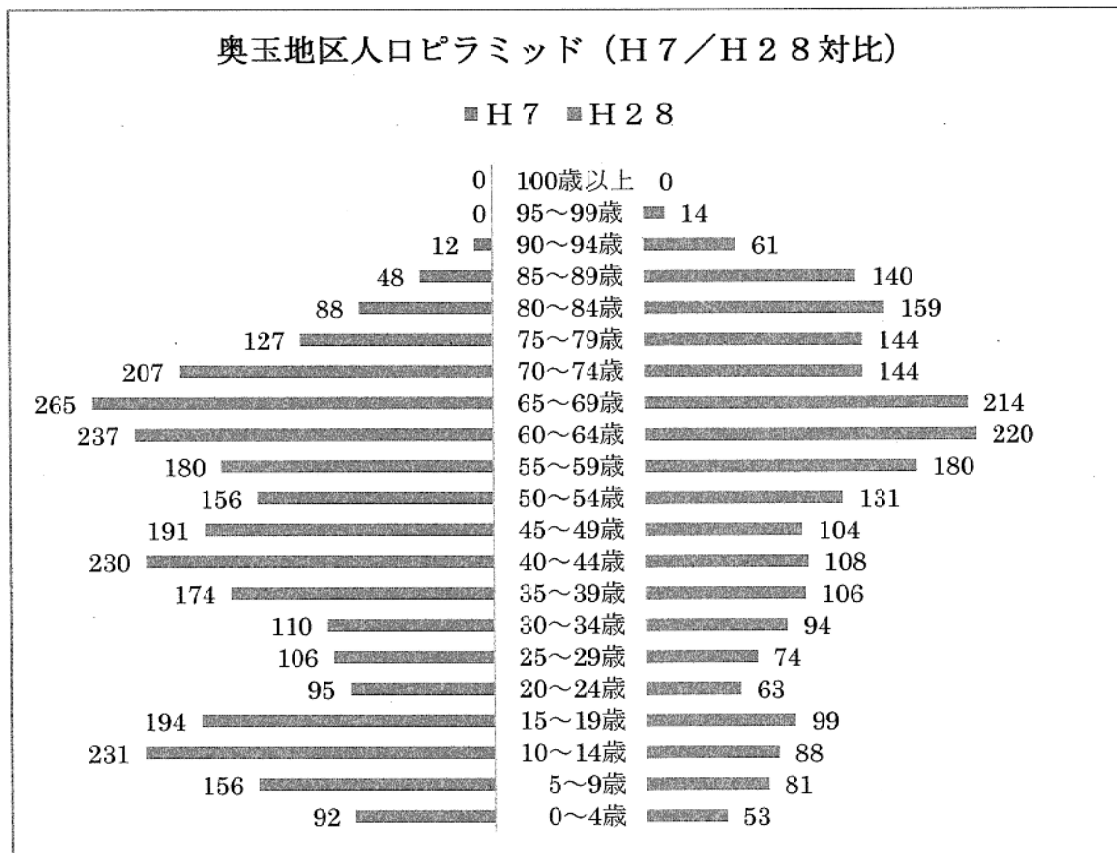
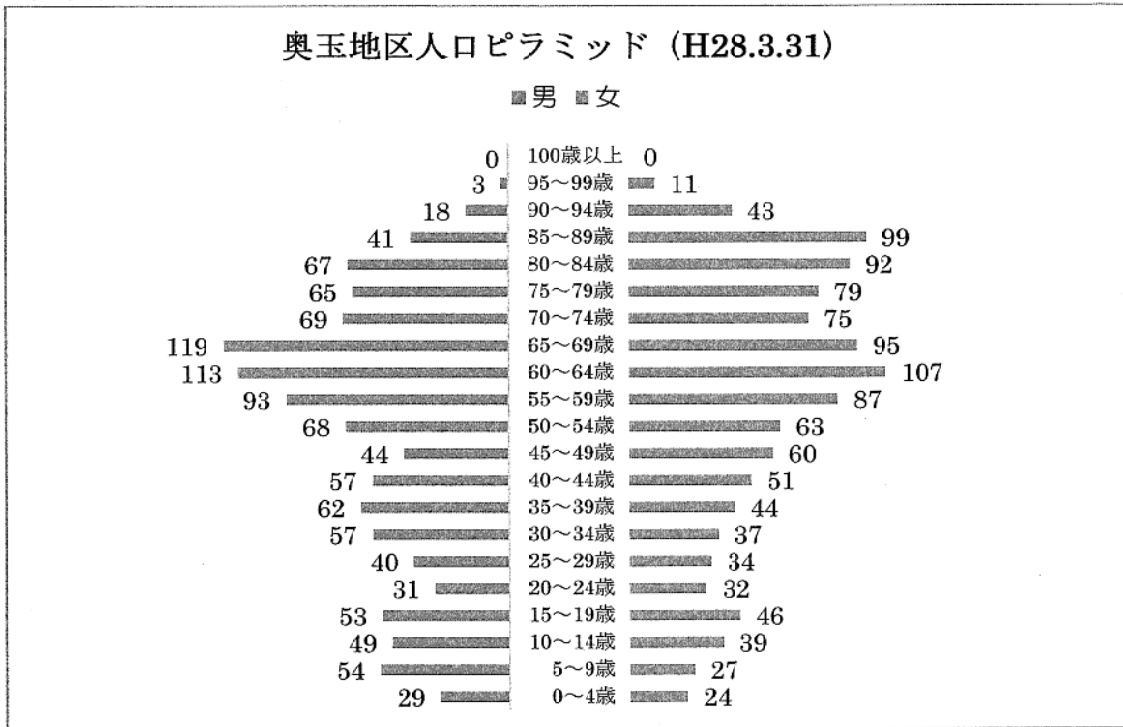
（平成28年3月31日現在 住民基本台帳より）

行政区	世帯数	人口	55歳以上	10年後高齢化率	65歳以上	高齢化率	14才以下	少子率	若年世代（20～44歳）	
大 平	114	348	184	52.87%	162	46.55%	38	10.92%	64	18.39%
宝 築	74	263	141	53.61%	119	45.25%	26	9.89%	45	17.11%
中日向	100	314	167	53.18%	137	43.63%	38	12.10%	74	23.57%
三 沢	92	324	172	53.09%	151	46.60%	40	12.35%	74	22.84%
天ヶ森	124	340	195	57.35%	171	50.29%	28	8.24%	59	17.35%
町 下	94	298	184	61.74%	153	51.34%	20	6.71%	46	15.44%
寺崎前	58	166	110	66.27%	102	61.45%	11	6.63%	32	19.28%
花 貴	68	224	123	54.91%	101	45.09%	21	9.38%	51	22.77%
合 計	724	2,277	1,276	56.04%	1,096	48.13%	222	9.75%	445	19.54%

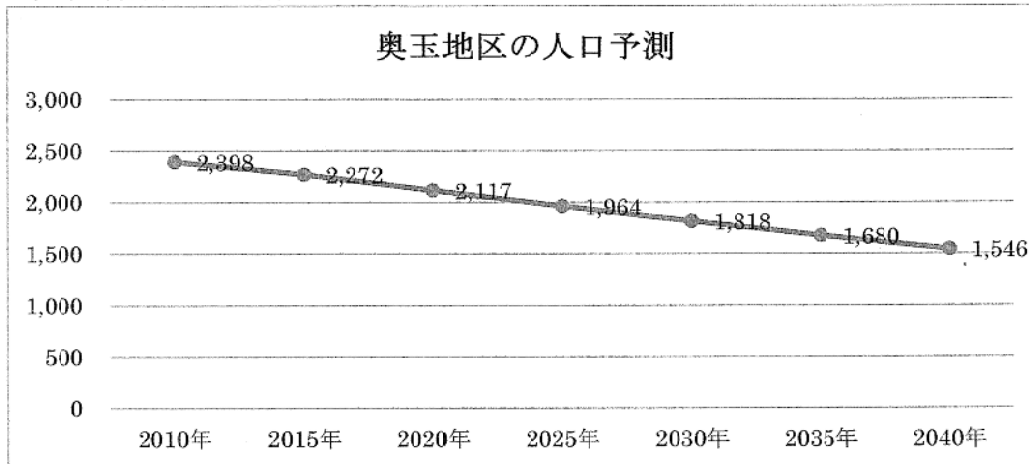
※ 「10年後高齢化率」は、総人口に占める55歳以上の人口の割合（準高齢化率）です。

※ 天ヶ森地区には、特別養護老人ホームひなた苑の29世帯が含まれています。

(4) 人口ピラミッド (平成 28 年 3 月 31 日現在)



(5) 将来人口予測



*この人口予測は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成 25 年 3 月推計）」による一関市の減少率を、単純に奥玉地区にあてはめた予測資料です。

（参考）一関市の指数は、2010 年（平成 22 年）を 100 とした場合、2025 年（平成 37 年）には 81. 9、2040 年（平成 52 年）には 64. 5 と推計されています。

(6) 地域の特徴等

・先人の英知や努力により培われた歴史と風土が息づく奥玉地区には、現在 8 行政区に自治会が組織され、それぞれの集会施設を拠点に特色のある地域づくり活動が展開されています。

・奥玉振興協議会は、昭和 61 年 1 月に設立され、市内でも先駆けて各自治会・団体等の相互連携を図りながら地区の自治振興や地域づくり活動を進めて来ています。主な活動としては、新年交賀会（1 月）、奥玉ふるさとまつり（8 月）、奥玉地区民芸大会（11 月）開催などのほか、近年は、とびがもり水車音楽祭の開催や音楽イベントの主催や協力など地域の活性化事業にも取り組んでいます。

・営農関係では、平成 8 年から 19 年にかけて行われた基盤整備事業で大区画圃場が生まれ、各集落には営農組織が設立され集落営農が推進されてきました。その後、奥玉地区 7 集落にまたがる農事組合法人おくとま農産が平成 19 年に設立され、現在では構成員 340 名、経営耕地面積 165.31ha（H27 現在）と県内でも有数の農業経営体として農地の集積、コスト削減、効率化などを追求しながら、地域農業の推進や 6 次産業化への取り組みなどが行われています。

・昭和 34 年に社団法人として設立された奥玉愛林公益会は、平成 24 年地縁団体となり、森林資源の保護や森林経営とともに、産業の振興や環境美化など地域の重要な役割を果たしています。また、地区内の文化遺産や史跡の調査・保存活動、古道の整備など地域おこし事業にも取り組んでいます。

・奥玉地区出身者のふるさと会として「奥玉郷友会」が首都圏で組織されており、会員の皆様には、地域の各種行事やイベント開催時などを通じて、定期的な親睦交流と支援協力を頂いています。また、今回の計画策定に係るアンケート調査等にも協力頂きました。

4 地域の将来像

奥玉地区の豊かな自然や文化資源を活かし、地域住民が結びつきを深めながら、様々な団体と相互に連携協力し、子どもから高齢者まで一人ひとりが生きがいをもって笑顔で安心して生活できる地域を実現するため『“笑顔と自然”あふれる奥玉』を地域の将来像に掲げます。

5 地域づくりの基本方針

地域の将来像「“笑顔と自然”あふれる奥玉」を実現するため、スローガンを定め、地域づくりの基本方針として次のとおり三本柱を設定し、互いに連携を深めながら計画の推進を図ります。

(1) スローガン

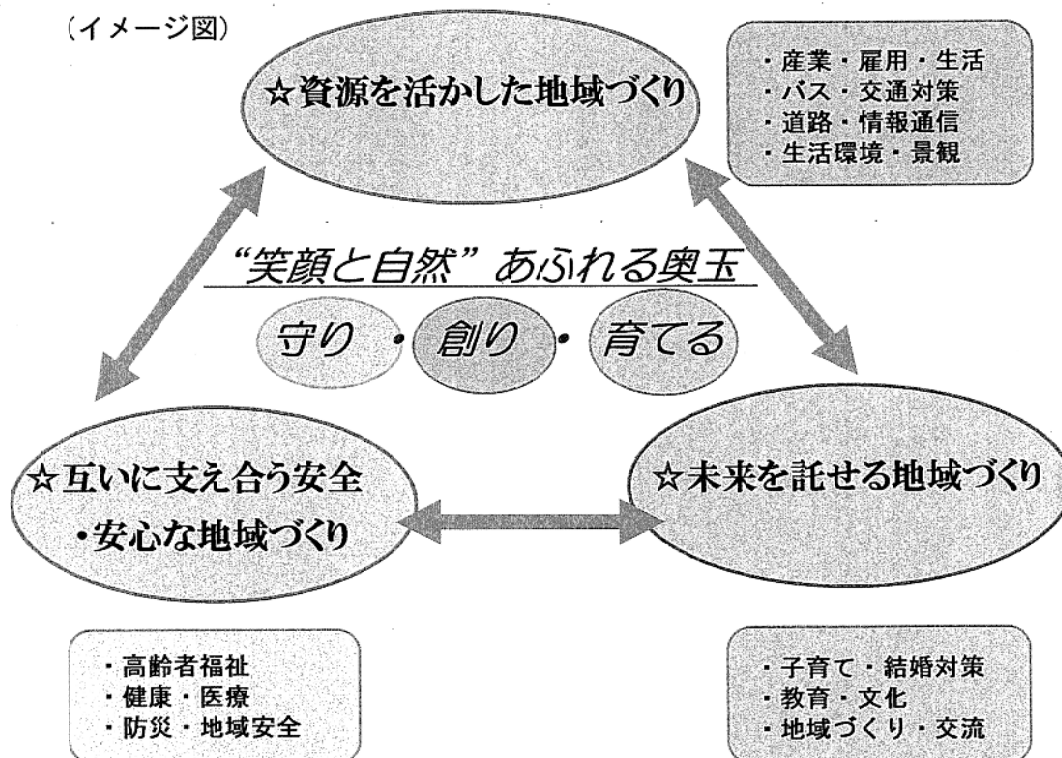
“笑顔と自然”あふれる奥玉 ～守り・創り・育てる～

(2) 基本方針

基本方針の三本柱

- ① 『資源を活かした地域づくり』
- ② 『未来を託せる地域づくり』
- ③ 『互いに支え合う安全・安心な地域づくり』

(イメージ図)



6 分野別の目標と具体的な取り組み

事業の推進や地域課題の解決を体系的かつ効果的に展開していくために、次のとおり分野別に10に区分し、それぞれ目標を掲げその実現を目指します。

なお、具体的な取り組みと解決策については「別表」のとおりとし、各分野互いに連携を取りながら計画の推進を図ります。

また、計画の推進に当たっては、奥玉振興協議会の組織体制の見直し、強化を図り、役割分担を明確にしながら取り組みます。

① 『資源を活かした地域づくり』 分野別の目標

(1) 産業・雇用・生活

『地域資源を活かした産業の振興と若者が活躍できる地域』

(2) バス・交通対策

『交通弱者に配慮した仕組みづくりと利便性向上の地域』

(3) 道路・情報通信

『人・もの・情報が活発に行き交う交流促進の地域』

(4) 生活環境・景観

『奥玉の豊かな自然を守り育む資源循環型の地域』

② 『未来を託せる地域づくり』 分野別の目標

(5) 子育て・結婚対策

『若者が地域に夢を持ち、安心して暮らせる地域』

(6) 教育・文化

『人を育み文化を創造する生涯学習推進の地域』

(7) 地域づくり・交流

『コミュニティ意識を高め、奥玉の良さを発信できる地域』

③ 『互いに支え合う安全・安心な地域づくり』 分野別の目標

(8) 高齢者福祉

『みんなで支え合い、ともに安心して暮らせる地域』

(9) 健康・医療

『暮らしを支える医療の充実により、健康で長寿な地域』

(10) 防災・地域安全

『地域が連携し、災害に強い安全・安心で住みよい地域』

【 別表挿入：分野別の目標と具体的な取り組み 】

7 事業実施計画（単年度ごと）

単年度ごとの事業実施計画は、ローリング方式により実施する事業について、前年度（年度途中で策定した場合は当該年度）までに策定します。

事業の進捗状況や事業効果などは毎年度把握し、評価・検証しながら進めていくものとします。（PDCAサイクル参照）

(別表) 分野別の目標と具体的な取り組み



(1) 産業・雇用・生活

地域資源を活かした産業の振興と若者が活躍できる地域を目指します。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業をする 50 歳代以下の担い手が少ない。 ・農作業や大型機械を運転できる 50 歳代以下が少ない。 ・農業を理解してくれる消費者が少ない。 ・農業は魅力ある産業だが、農地の一部が荒れ始めている。 ・農業の仕事が農事組合法人に集積された一方で高齢者農家の役割が少なくなった。 ・農業だけでは生活できない。 ・高齢化等による農地の荒廃、耕作放棄地の増加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人や地元企業との連携を密にする。 ・農事組合法人の機能と役割の充実強化。 ・農事組合法人の今後の経営方針等を確認し、地域からも可能な支援をする。 ・農産物、野菜の加工開発。 ・健康を考える野菜づくり。 ・土地を無料で貸すなど農業者、移住者の募集。 ・「農」と「商」をつなぐ強いネットワークの構築。 ・他地域から就農希望者を呼び込む。 ・後継者を増やすため、J A とタイアップして研修場を作り定住を進める。 ・J A 新規就農制度を活用する。 ・宅地、農地を貸し、定住者を支援する。 ・耕作放棄地を無くす取り組みの強化。
◆雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用の場が少ない。 ・若い人の働く場所が少ない。 ・若者が正規職員で働ける場所をもっと増やして欲しい。 ・60 歳代でも仕事ができる職場が欲しい。 ・車社会だが、町外の職場が多く、通勤等の課題も多い。 ・奥玉内での働き口が少ない。 ・地域に根ざした産業が少ないため、企業が撤退すると仕事もなくなってしまふ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農事組合法人や地元企業との連携を密にする。 ・雇用や就労状況の数値での分析。 ・新産業の創出が期待できる ILC 実現を支援する。 ・土地の提供やインターネットの活用などによる職場誘致を検討する。 ・企業誘致や 6 次産業化の推進による若者の雇用の場の創出。
◆地域産業	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物、観光自然、郷土芸能など地域資源を活かしきれていない。 ・地域資源や特色についての PR 不足、宣伝下手ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の有効活用、木工品の開発、木材の熱利用。 ・産直施設の建設整備の検討。 ・農産物の二次加工販売。 ・地域特産品の開発。 ・高齢者にも参加でき働ける産業おこし。 ・自然エネルギーを活用した産業振興。 ・自然環境維持のための雇用創出。(草刈り等) ・他地域のイベントに飛び込み PR。 ・インターネットを活用した PR。 ・奥玉独自のゆるキャラの開発。

<p>◆生活 (施設 活用)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車が運転できなくなると生活できない。 ・奥玉小学校閉校後の施設活用。 ・企業と地域のつながりが見えてこない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合後の小学校跡地の有効活用。 ・施設活用で地域活性化の起爆剤にする。 ・小学校跡の活用策を検討する。 (例えば、産直施設、農家レストラン、民泊施設、ショッピングモール、地域遺品展示場などとしての利活用) ・小学校跡地の利用管理を地域で行う。 ・各自治会からもアイデア・意見を聞く。 ・グラウンドを利用したイベントを企画する。(地元出身のスポーツ選手などを呼ぶことも検討。) ・奥玉にこだわった大会に利活用する。
<p>◆生活 (買い物)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・お店が少ない。 ・銀行やショッピング施設が遠すぎる。 ・買い物が不便。 ・地元商店街に元気・活気がない。 ・商店の数が減っている。 ・買い物などで選択肢が少ない。 ・市街地まで行かないと生活必需品が買えない。 ・商業の衰退。 ・地元商店より一関、気仙沼の大型店に行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地場産品を多く取り扱うショッピングモールなどの検討。 ・目玉商品で、地域外からも客を引き寄せる工夫。(地酒など) ・お取り寄せ商品などの開発。 ・宅配サービスや移動販売業者との連携。



守り

創り

育てる

(2) バス・交通対策

交通弱者に配慮した仕組みづくりと利便性向上の地域を目指します。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆ バス 交通	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線が少ない。 ・バス運行回数が少なく通院が大変だ。 ・バス運行時間が少なすぎる。 ・バス停の設置場所を考えてほしい。 ・バス停に待合室を作ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・序の口に迎えに行くシステムの検討。 ・企業（商店）と連携した低料金バスの運行検討。 ・住民が乗合できるスクールバス検討。 ・バスではなく大型ワゴン車の活用検討。（経費削減）
◆ 公共 交通	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が少ない。 ・交通の便が悪い。 ・利用者の減少と利便性低下の悪循環がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の原点を見直す。（調査が必要） ・奥玉地域に合った交通の在り方を検討する。 ・デマンド型交通システム、乗合タクシーの検討。
◆ 交通 弱者対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・交通弱者への対応が必要。 ・高齢者の足と買い物、対話の場。 ・車が運転できなくなった時の交通手段。（買物、通院） ・車がないと生活できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の買い物対策の検討 （例えば、日にちを決めて自治会の役員等が買い出しに出かける対策や地域の御用聞き事業など） ・医療、福祉を目的としたコミュニティバス（交通網）の整備検討。 ・ラクター専用道路の整備。 ・「高齢者運転免許自主返納サポート制度」などの検討。

(3) 道路・情報通信

人・もの・情報が活発に行き交う交流促進の地域を目指します。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆道路 (ハー ドの充 実)	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の整備が不十分である。 ・集落の県道、市道に歩道をつけてほしい。 ・冬季の積雪で、早めの除雪を行って欲しい。 ・広域農道の大型車の交通量が多い。 ・ラクター、自転車、歩行者が安全に通行できる道路整備。 ・歩きづらい道路の解消、バリアフリー化。 ・道路標識の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備が必要な個所をまとめる。 ・県道、市道の整備促進を関係機関に働きかける。 ・ラクター専用道路やコースの整備。 ・ラクター全国大会の開催検討。
◆公園	<ul style="list-style-type: none"> ・親水公園に利便性が少ない。 ・他地域から人を呼べる大きなスポーツ公園施設欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる自然公園の整備。 ・校庭、親水公園、おくらんど等の整備・充実。(運動公園とする。)
◆情報	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域の情報が伝わりにくい。 ・NHKの地デジの電波状況が悪い。 ・奥玉地区の情報が少ない。 ・テレビやラジオ、スマホの電波環境が悪い。 ・地域の情報を得るのに、FMあすもをうまく使えない。 ・地域内の情報伝達と周知の方法が不足している。(チラシと回覧が主) 	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ、携帯電話の電波環境改善。 ・情報発信の拠点を整備する。 ・FMあすも専用ラジオを活用する。

(4) 生活環境・景観

奥玉の豊かな自然を守り育む資源循環型の地域を目指します。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆水道 下水道 関係	<ul style="list-style-type: none"> ・水道の整備を行って欲しい。 ・水道、下水道などの生活環境が悪い。 ・生活排水が自然浸透式。 ・下水が臭い。 ・雨が降った時の排水対策が不十分。 ・家庭の汚水対策不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地元負担の少ないインフラ整備（上下水道、トイレ、道路など）
◆自然	<ul style="list-style-type: none"> ・川辺などに蛍を見かけなくなった。 ・鹿とか熊が増えているので駆除してほしい。 ・農地が荒れ、獣が多く来て困る。 ・田畑を荒らす動物や外来植物が増えている。 ・松くい虫被害などによる山林の荒廃。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域を挙げた町の清掃、川の清掃。 ・釣りや水遊びができる川の整備。 ・有害鳥獣や外来植物の駆除対策。 ・河川の環境整備（草刈り、菜の花など） ・奥玉の自然を売り出す。（ネット活用） ・レンタル自転車（観光用）の整備とで自然を楽しんでもらう活用策の検討。 ・奥玉の豊かで恵まれた自然環境を守る活動の展開。
◆景観	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的史蹟の年間管理。 ・里山保全、代表的景観の維持。 ・犬の散歩をする時のフンの処理。 ・ダンプの騒音対策 	<ul style="list-style-type: none"> ・里山や田園景観を良くする花や木を植える。 ・奥玉の里山景観や環境を維持する活動団体の組織化。 ・地域の見どころツアーコースを作る。 ・季節ごとの地域の見どころを集める。 ・種まき桜をもっと見せる。（散策路、ライトアップ） ・お花見パンフレットを作り、地元の人達で歩いてみる。 ・植樹の整備。 ・お花見会場に出店などを出す。 ・市民センターの桜をライトアップする。（庭の開放、集いの場）
◆生活 環境	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家、農地の放置、荒廃。（例：空き家が荒れて動物が棲み着いている。） ・空き家が増加しているので、行政活動が重荷になっていく。 ・数年で集落が廃集落になりかねない状況が見られる。 ・地元から出る人は多いが、入って来られる所がない。 ・大量生産、大量消費の弊害、ゴミの増大。 	<ul style="list-style-type: none"> ・Iターンの促進 ・夢物語をつくる。（昔話など） ・「まがたま資料館」の検討。 ・夢の奥玉地図をつくる。（絵を入れる。） ・農地や空き家を活用したイベントの開催（例：トマト早食い大会、草刈り大会など） ・空き家情報を集め発信・PRする。 ・古民家の見学ツアー等の実施検討（例：お試し期間を設け自由に住んでもらう。地域行事とタイアップした実施など） ・資源リサイクルの推進。

(5) 子育て・結婚対策

若者が地域に夢を持ち、安心して暮らせる地域を目指します。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆結婚対策	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者に嫁がない。 ・独身者が多く子供がいない。 ・独身男性が地域に増えている。 ・地域に若い女性がほとんどいない。 ・出会いの場が少ない。 ・未婚者対策が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・婚活、出会い場を作る。 ・奥玉コンパ「奥コン」の開催。 ・若者が集える場所を設ける。 ・農業体験を兼ねた婚活イベントの開催 (例：田植え、稲刈り、コンバイン、りんごもぎ) ・イベント用に田んぼを借りる。 ・結婚祝を検討する。(記念品の贈呈など) ・農業したい人を呼び込む。 ・寺院を会場に一泊のイベント開催。 (例：講話「結婚すると良いこと」など) ・「婚活」と言われると身構えるので、地域のイベントと併せて開催する。
◆保育園の定数問題	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境が整っていない。 ・若い人が子育てに専念できない。 ・祖父母も働いている。 ・奥玉でも保育園に入れられない人がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園の入園条件の緩和。 ・保育園の定員を増やす。
◆若者がいない	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人がいない。 ・若者・子どもの世代が減っている。 ・若者が定住できる要素が少ない。 ・跡取りがはっきりしない。 ・地域に子どもがいない。 ・子どもの声がする地域にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業興しや起業への支援で若者の職場を確保する。 ・若者に魅力ある地域をつくる。 ・若者が地域活動や意見交換、研修しやすい場を作る。
◆コミュニティの場所	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集まる場所がない。 ・地域の交流の場が少なくなった。 ・仕事が多様化し、お互いの交流が少ない。 ・近所付き合いが良くない。 ・子どもたちが休日にスポーツしたり遊べる場所が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家を活用した集いの場の創出。 ・里山を歩くトレッキングコースの整備 ・近所同士のあいさつ、声かけ意識の向上。 ・今ある公園に遊具を設置する。 ・若年層を重視した交流の機会や場の創出。

守り

創り

育てる

(6) 教育・文化

人を育み文化を創造する生涯学習推進の地域を目指します。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆教育環境の低下	<ul style="list-style-type: none"> ・奥玉小学校が統合し、地域に小学校が無くなる。 ・教育環境や生活様式の変化で、子どもの体力の低下を招いている。 ・地域に勉学意欲を満たす教育施設や学校が少ない。 ・古来の慣習につかりきって新しい文化、合理性に満ちた文化を取り入れていないと感じる。 ・子どものスポーツを伸ばす環境が整っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校統合に伴い、生涯学習の習慣化。 ・統合後の小学校跡地の有効活用。 ・小学校跡地の活用策を検討する。 <p>(例：芸術家の創作活動の場としての提供や地域住民の芸術・文化活動の場としての利活用など)</p>
◆通学路の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に通学する手段が課題。 ・徒歩の通学では不審者や熊の出没が頻発して不安。 ・スクールバスに乗れない地区の子どもの通学対策。 ・奥玉では通学路で信号機に触れる機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ、声かけ運動」を活発にし、地域で子どもたちを見守る。 ・防犯パトロールの重点実施。 ・防犯協会や交通安全団体と連携した活動の強化。
◆文化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・文化的活動の発信力が弱い。 ・先人たちが守り育んできた歴史文化を後世に伝えるための活動が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文芸等の文化活動による情報発信。 ・統合後の小学校跡地は、文化的活動拠点となるよう各方面へ働きかける。 ・自分たちの住む地域の歴史や伝統文化への理解を深める活動を行う。 ・地元学に取り組み、地域の元気に結びつける。

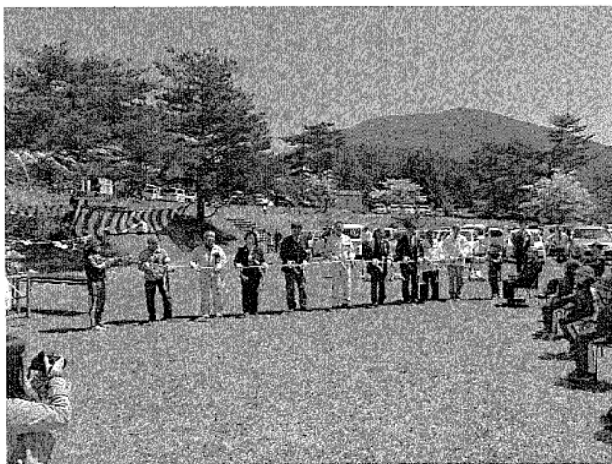


(7) 地域づくり・交流

コミュニティ意識を高め、奥玉の良さを発信できる地域を目指します。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆行事イベントの見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・行事、イベントが多すぎる。 ・行事に魅力、新鮮味がなくマンネリ化している。 ・地域行事等の参加者が少ない。 ・参加する人はどの行事も同じ人。 ・スポ少と自治会行事が重なる。 ・家族ぐるみの参加が少ない。 ・面倒な地域イベントの関わりから若者が離れて行く。 ・寄付が多すぎる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化している行事等の改革。 ・行事を絞って数を見直す。 ・楽しい行事、来年も参加したい行事の工夫をする。(例：賞品を豪華にする！など) ・地域の伝統行事などにも奥玉全体の若者が参加、伝承できるような体制を検討する。 ・地区行事の内容に子ども参加のものを増やす。(子どもが出ると親も出て来る。) ・農作業繁忙期の行事開催を見直し調整する。(稲刈り時期の運動会など) ・奥玉ふるさとまつりは、仮装・花火など他地区に例がない若者が集まるイベントなので、継続するための見直しを行う。 (例えば、仮装盆踊りに一般参加も募集し、個人賞を設けることや、若者コーナーを設け、奥玉以外の人も呼び込むことなどの検討。) ・寄付集めの方法等を見直す。(個々ではなく全体で考える。)
◆参加者不足	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人の参加が少ない。 ・世代交流が出来ていない。 ・地域が閑散としている。 ・若者の集まる機会が少ない。 ・同年代や地域での結いの場が無い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奥玉地区に青年部の結成を進める。 ・各地区青年会の交流会を行う。 ・若い人が楽しめるサークルづくり。 ・いわゆる「ネット世代」を集めるイベント開催(時間の使い方が昔と違う。) ・若者が参加できる環境づくりと行事の見直し。 ・お年寄りや子供たちが一緒に参加できる行事の検討。
◆担い手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・各分野のリーダーが少ない。 ・自治会役員や事務局になる人がなく、選出に苦労している。 ・自治会長への負担が大きすぎる。 ・地区の役職を重複する人が多く、役割分担が必要。 ・人任せになっている。 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のリーダーの育成(先進事例に学ぶ) ・役員の順番制(人任せにしない。) ・自治会の様々な役割や活動を分担する。(一人一役) ・育て、引き継ぐなど世代交代を上手に行う。 ・行政などからの自治会への負担が大きいのもっと軽減する。 ・地区の役職・役割を見直しする。 ・地域の組織を整理してまとめる。 ・リーダーの役職や負担を軽減する。

<p>◆地域のPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・奥玉を知ってもらう工夫が足りない。 ・奥玉地域のPRが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田舎奥玉の良さを都会などにPRする。 ・奥玉的体験ツアーや民泊の推進。 (例：イベントに来た人に泊まってもらう。) ・地域PRのための参加型イベントの開催。 (例：奥玉音頭のど自慢大会の開催、地域PRマラソン大会の開催、地域の自慢の一品を持ち寄るイベントの開催など) ・特産物の開発（農事組合法人との連携） ・飛ヶ森キャンプ場の利用PRとフル活用。 ・自治会のイベントを奥玉地区全体でサポートする。(例：大平そばまつり、三沢スイートコーンまつりなど) ・映画のロケーションなどの誘致。 ・奥玉ギネスブックを作りPRする。 ・首都圏在住者などへの「奥玉PR協力員」の任命。 ・室根山に隣接する地域の連携した観光交流や情報発信事業の展開。 ・室根山古道を活用したイベントなどの開催。
---------------	--	--



(8) 高齢者福祉

みんなで支え合い、ともに安心して暮らせる地域を目指します。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆高齢者世帯の課題	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者の見守りの充実。 高齢者の身元管理の充実。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活地域での見守り活動の推進。 地域の見守りネットの構築。 「お茶っこ飲んでがいん運動」の推進。 一人暮らし世帯のマップ作成・活用。(民生委員だけの負担にしない。) 一人暮らしの人が参加できるようなイベント開催。 近所同士のあいさつ、声かけ意識の向上。
◆高齢者支援の在り方	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者世帯や一人暮らし世帯の清掃活動や草刈り等の共同作業。 自宅周りの草刈作業が困難。 行事への参加が高齢者には負担。 	<ul style="list-style-type: none"> 各地域ごとのボランティア活動 高齢者支援組織の検討 (例：困っている人を助けるシルバー人材的な何でも屋組織の設立。若者、専業主婦で会社を立ち上げ有料サービスを提供する。) 宅配サービス(お弁当、日用品) 地域共通券の検討(サービスのメニュー、対価を地域で決める。) 自治体などと連携した「よろず相談所」の開設。 高齢者向け無料バスの定期運行。
◆生活と交通手段の悩み	<ul style="list-style-type: none"> 買い物に行けなくなった場合の不安。 免許証返納と歩行困難。 生活必需品、食品の購入が困難。 交通手段がなく買い物などが不便。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動販売業者やスーパーなどとの連携・協力。 大阪などで進めている「高齢者運転免許自主返納サポート制度」の検討 生協のような注文書による購入。 買い物代行の検討。
◆介護や通院の不安	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険料、後期高齢者保険料が高い。 バス停が遠く、通院の足が課題。 年金が安い。 老人ホームにすぐに入れない。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者等が安心できる地域での支援組織づくり。 地域グループホーム等の設置による介護、認知症予防対策の推進。 訪問型サービスの充実。 介護タクシーの充実。 利用者への情報提供の機会を増やす。 福祉サービスのしおり作成。
◆障がい者の訴え	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者に対する関心の無さ。 車椅子で何もできない。 高齢者とは異なる障がい者への配慮。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の方とのコミュニケーションの機会を設ける。 地域での、福祉教育や体験・交流活動などを通じて障がい者への正しい理解を進める。 NPO法人 響生(ひびき)との連携。

(9) 健康・医療

暮らしを支える医療の充実により、健康で長寿な地域を目ざします。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆健康不安	<ul style="list-style-type: none"> 健康でないことによる将来不安。 年齢を重ねることでの身体の弱り。 働く意欲や体力の低下。 低収入による生活苦。 	<ul style="list-style-type: none"> 若い人との交流とそれを支えるシステムづくりの検討。 健康維持、介護予防を目的とした体操などの推進。 軽い体操ができるイベントの開催。(例：公園に行って歩くなど運動の習慣化。) 健康スポーツジムの開設。 健康情報を発信する。(動くことで痛みを軽減する物質が脳内から出る。) 昔ながらの健康料理を提供する施設(農家レストランなど)への起業支援。 シニア世代が楽しく活動できるスポーツ・イベントの開催。 かかりつけ医の推奨(地区内の診療所などとの連携)
◆千厩病院の充実を望む声	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療の中心的役割を担っているが、医師が不足している。 診療科目が不足している。 診療の待ち時間が長い。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域から病院充実の要望を出し続ける。 地域医療を支える病院ボランティア活動への支援、協力を行う。
◆通院の課題	<ul style="list-style-type: none"> 交通が不便で病院通いが大変。 通院のための足の確保。 一関や気仙沼方面まで通うのが大変。 	<ul style="list-style-type: none"> 病院などと連携した足の確保 (例：病院に呼びかけ、曜日ごとに各地区をワゴン車で無料送迎する。曜日を決めて無料バスを運行する。) 相乗りタクシーの検討。
◆専門医の不在	<ul style="list-style-type: none"> 専門医が少ない。 病院が少ない(眼科、耳鼻科など) 産婦人科が遠くて不便。 産婦人科、小児科がない。 診療科目や専門医の配置が分かりづらい。 	<ul style="list-style-type: none"> 行政や各種団体などと連携し、地域医療の充実をめざす。 医学部をめざす子どもへの教育的支援。 放課後など勉強できる環境づくり。 基金、奨学金のシステムを確立し、将来への投資として人材を育てる。 大学、製薬会社への働きかけを行う。

守り

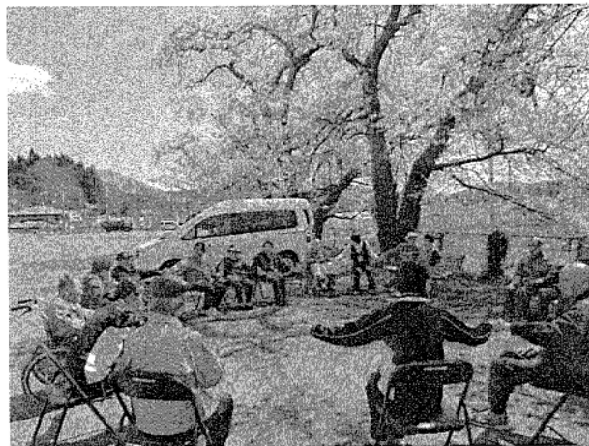
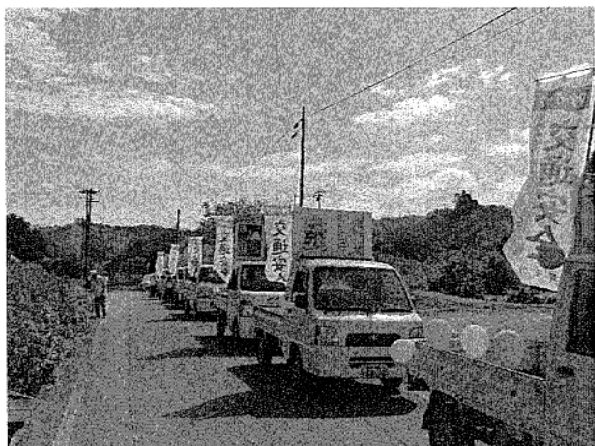
創り

育てる

(10) 防災・地域安全

地域が連携し、災害に強い安全・安心で住みよい地域を目ざします。

テーマ	現状と課題	取り組みと解決策
◆防犯灯の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・夜道が暗い。 ・外灯が少なく暗い。 ・防犯灯が少ない。 ・空き巣等への防犯対策が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯灯の設置。 ・外灯の充実。 ・無施錠の解消など防犯活動の強化。
◆交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い農道（通学路）を大型ダンプが通る。 ・スピード出しすぎの車輛が通る。 ・行事やイベント時の駐車場が無い。 ・路上駐車による事故の危険。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大型車、交通量の多い道路の歩道の確保。 ・行事やイベント時の臨時駐車場の確保を図る。
◆防災情報の伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・防災放送が全く聞こえない。 ・防災無線の設置数が少ない。 ・消防・防災を意識した若者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴エリアの実態調査と防災マストの増設要望。 ・防災情報の伝達にFMあすもの活用。 ・千厩地域へのケーブルテレビの設置。 ・災害時の連絡網、マップの準備。
◆地域安全	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを守る環境が不安。 ・火災発生時の水の確保が不十分な地域がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守りネットの構築。 ・防犯パトロール活動の充実。 ・消防水利の確保による不安の解消。 ・防犯協会や交通安全団体と連携した活動の強化。



奥玉振興協議会規約

第1章 名称及び事務所

第1条 この会は奥玉振興協議会と称し、事務所を奥玉市民センター内に置く。

第2章 目的及び事業

第2条 この会は団体相互の理解と親睦を図るとともに、奥玉地区住民自らが話し合いを実践し、奥玉地区民の福利増進と明るく豊かにして健康あふれる地区民の生活を確立し、地区の発展に寄与する。

第3条 この会の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 自治会・団体等の相互の連絡調整に関すること。
- (2) 地区民相互の親睦、福利厚生、体育、レクリエーション、芸術文化教養等社会的事業
- (3) 地区の自治振興に関すること。
- (4) 地域づくり活動の推進に関すること。
- (5) その多目的達成に必要なこと。

第3章 組織

第4条 この会の構成は奥玉地区内の自治会長、団体長、公職者有志をもって構成する。

第5条 この会事業を計画的かつ円滑に進めるため運営委員会を置く。

第4章 役員

第6条 この会に次の役員を置く。

会長1名、副会長2名、監事3名、運営委員若干名

第7条 役員選任は次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長、運営委員、監事は総会において選任する。
- (2) 顧問は必要により会長が委嘱することができる。
- (3) 事務局長、事務局員は会長が任命する。

第8条 役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 会長は会を代表し、会を総括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは代行する。
- (3) 監事は会計を監査し、総会に報告する。
- (4) 運営委員は事業の企画及び運営実施にあたる。
- (5) 事務局長、事務局員は会の事務（会計・広報）を行う。

第9条 役員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。補欠により就任した場合は前任者の残任期間とする。役員は任期満了後も後任者が就任するまでは、その職務を行う。

第5章 会議

第10条 この会の会議は総会、運営委員会とする。

第11条 総会は年1回会長が招集し次の事項を審議する。但し必要に応じ臨時に開くことができる。

- (1) 規約の制定及び改廃に関すること。

- (2) 役員を選任すること。
- (3) 事業計画並びに予算を決定すること。
- (4) 事業報告並びに決算を認定すること。
- (5) その他会長が必要と認めること。

第12条 運営委員会は会長が招集する。

- 2 運営委員の3分の2以上の要求がある場合はこれを開かなければならない。

第13条 会議の議事は、出席者の過半数をもって決する。但し可否同数の時は議長がこれを決する。

第6章 会 計

第14条 この会経費は、会費、補助金、負担金、寄付金、その他の収入をもってあてる。

第15条 この会の会計年度は、毎年4月1日に始まり3月31日で終わる。

附則 昭和61年1月11日制定

- 1 この会の規約は、平成18年1月7日から施行する。

附則 平成25年1月12日改正

- 1 この会の規約は、平成25年1月12日から施行する。

但し、平成25年度において、会計年度を、平成25年1月1日から平成26年3月31日までとする。

附則 平成27年4月28日一部改正

- 1 この会の規約は平成27年4月1日から施行する。

◎奥玉振興協議会の地域協働体登録とその後の経過

期 日	事 業 内 容	備 考
H25. 6. 4	一関市に地域協働体届出書を提出	
H25. 6. 14	一関市より「地域協働体登録通知」を受ける	
H26. 1. 22	協働のまちづくり懇談会	「協働のまちづくり」について
H26. 2. 13	奥玉地区生涯学習に関する懇談会 「行事の参加率を高めるために」	
H26. 2. 27	生涯学習推進員会議 「行事の参加率を高めるために」(まとめ)	
H26. 7. 3	一関市地域協働推進計画説明会	
H27. 3. 8	奥玉地域づくり講演会「里山資本主義と奥玉の未来」 ㈱日本総合研究所 主席研究員 藻谷浩介氏による講演会	
H27. 5. 28	奥玉振興協議会運営委員会 「平成 27 年度地域づくりに関する研修等年間計画について」	
H27. 6. 11	平成 27 年度第 1 回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H27. 6. 22	協働のまちづくり推進研修会 市まちづくり推進課長講話、いちのせき市民活動センター所長講演	奥玉振興協議会会員全員(133名)に案内
H27. 7. 16	平成 27 年度第 2 回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H27. 8. 20	協働のまちづくり推進に係るワークショップ① テーマ：奥玉地域の現状と課題	奥玉振興協議会運営委員対象
H27. 8. 25	協働のまちづくり推進に係るワークショップ② テーマ：奥玉地域の課題解決策	奥玉振興協議会運営委員対象
H27. 8. 27	平成 27 年度第 3 回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H27. 10. 14	地域づくり研修会 「花泉町老松地区の地域づくりについて」	奥玉振興協議会会員全員に案内 その他、小学生の保護者に案内
H27. 10. 20	平成 27 年度第 4 回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H27. 12. 12	地域づくり計画作成先進地視察研修 (大東町「結いネットそげい」)	奥玉振興協議会会員全員に案内 視察終了後、市民センターで懇談
H27. 12. 18	平成 27 年度第 5 回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H28. 2. 5	平成 27 年度第 6 回奥玉地区地域協働推進チーム会議	平成 28 年度地域づくり計画策定について
H28. 2. 26	奥玉振興協議会運営委員会 「奥玉地区地域づくり計画の策定について」	計画書のイメージ、策定スケジュール、策定検討委員の役割と人数
H28. 3. 4	奥玉地区地域づくり計画策定検討委員の推薦について	各自治会長に依頼
H28. 3. 8	平成 27 年度第 7 回奥玉地区地域協働推進チーム会議	当面の予定について、アンケートの実施について

期 日	事 業 内 容	備 考
H28. 4. 19	奥玉振興協議会第1回運営委員会 総会の開催について	28年度事業計画に「地域づくり計画策定」について明記
H28. 4. 26	平成28年度奥玉振興協議会総会	28年度事業計画に「地域づくり計画策定」について明記し、承認
H28. 5. 6	第1回奥玉地区地域づくり計画策定検討委員会 委嘱状の交付、地域協働の推進、地域づくり計画作成の理由、職務内容	いちのせき市民活動センター 佐藤大輔支援員による講話
H28. 5. 12	平成28年度第1回奥玉地区地域協働推進チーム会議	アンケートの内容について
H28. 5. 17	第2回奥玉地区地域づくり計画策定検討委員会 アンケートの内容について	
H28. 5. 27	奥玉振興協議会第2回運営委員会 地域づくり計画に関するアンケートの実施について	アンケートの内容、配付～回収スケジュール等について
H28. 6. 10 ～ 6. 30	奥玉地区地域づくり計画策定に係るアンケート調査の実施	行政区長、班長に配付～回収を依頼
H28. 8. 3	奥玉振興協議会第4回運営委員会 地域づくり計画に関するアンケートの集計結果の概要について	
H28. 8. 18	平成28年度第2回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H28. 8. 23	第3回奥玉地区地域づくり計画策定検討委員会 アンケートの集計結果報告、「10年後の奥玉こんな地域になってほしい」	ワークショップ（あらたま談義） 生涯学習推進員参加
H28. 9. 15	平成28年度第3回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H28. 9. 23	第2回生涯学習推進員会議 奥玉地区地域づくり計画策定の経過と今後の関わり方について	
H28. 9. 27	第4回奥玉地区地域づくり計画策定検討委員会 アンケート結果を基に課題の分類・整理	ワークショップ（あらたま談義） 生涯学習推進員参加
H28. 10. 4	奥玉振興協議会運営委員・行政区長合同会議 奥玉地区地域づくり計画策定作業の進捗状況について（報告）	
H28. 10. 6	第5回奥玉地区地域づくり計画策定検討委員会 アンケート結果を基に課題に対する解決策について①	ワークショップ（あらたま談義） 生涯学習推進員参加
H28. 10. 13	第6回奥玉地区地域づくり計画策定検討委員会 アンケート結果を基に課題に対する解決策について②	ワークショップ（あらたま談義） 生涯学習推進員参加
H28. 10. 21	平成28年度第4回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H28. 11. 1	第7回奥玉地区地域づくり計画策定検討委員会 スローガン、分野別目標、平成28年度実施計画について（意見交換）	ワークショップ（あらたま談義）
H28. 11. 29	平成28年度第5回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H28. 12. 5	第8回奥玉地区地域づくり計画策定検討委員会 地域づくり計画書（素案）、平成28年度実施計画について（意見交換）	ワークショップ（あらたま談義）
H28. 12. 9	平成28年度第6回奥玉地区地域協働推進チーム会議	
H28. 12. 13	平成28年度第5回運営委員会 奥玉地区地域づくり計画書（案）について	
H28. 12. 21	奥玉振興協議会臨時総会 奥玉地区地域づくり計画書（案）について	

「奥玉振興協議会」一般アンケート集計結果 H28. 10. 4現在

配付枚数	2,026
回答数	1,563
回収率	77.1%

行政区	回収数	対象者数	回収率 %
大平	265	310	85.5
宝築	201	237	84.8
中日向	189	276	68.5
三沢	225	284	79.2
天ヶ森	179	283	63.3
町下	212	278	76.3
寺崎前	125	155	80.6
花貫	167	203	82.3
計	1,563	2,026	77.1

問2	性別	男	718
		女	761
		計	1,479

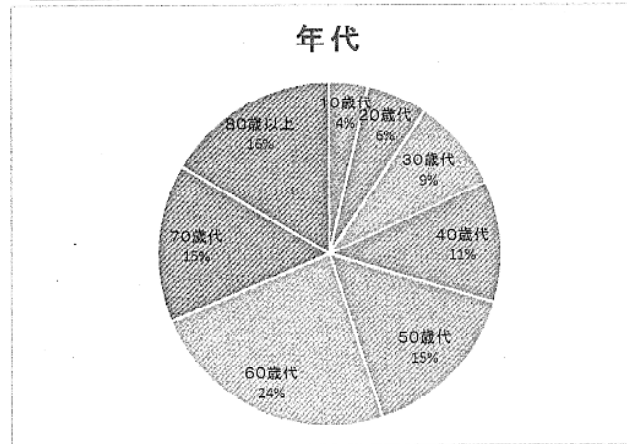
問3	年代	10歳代	55
		20歳代	87
		30歳代	133
		40歳代	173
		50歳代	233
		60歳代	357
		70歳代	226
		80歳以上	249
		計	1,513

問4	世帯構成	1 ひとり暮らし	67
		2 夫婦のみ	201
		3 二世帯（親と子）同居	626
		4 三世帯（親と子と孫）同居	550
		5 その他	45
		計	1,489

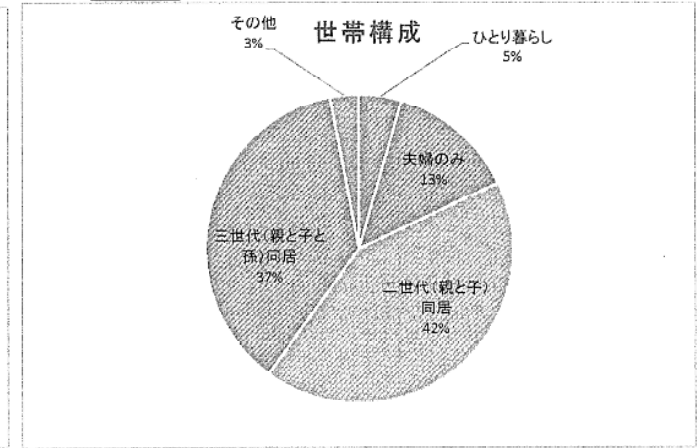
問5	奥玉地区の住み心地はどうですか？	1 良い（快適）	354
		2 どちらかといえば良い	806
		3 どちらかといえば悪い	235
		4 悪い（不快）	41
		計	1,436

問6	これからも奥玉地区に住み続けたいと思いますか？	1 住み続けたい	576
		2 どちらかといえば住み続けたい	541
		3 どちらかといえば住み続けたくない	290
		4 住み続けたくない	50
		計	1,457

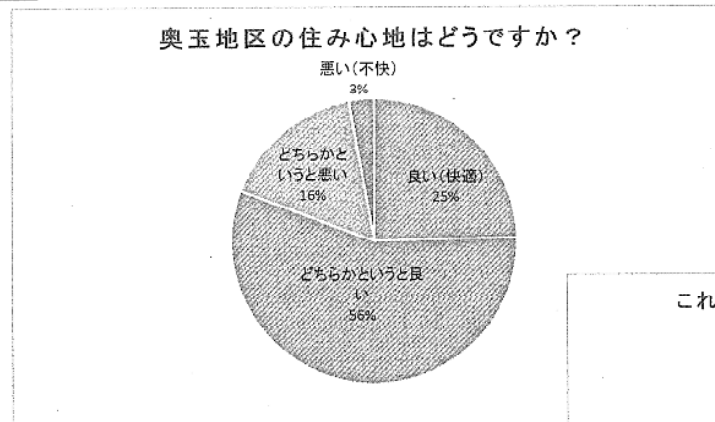
問3



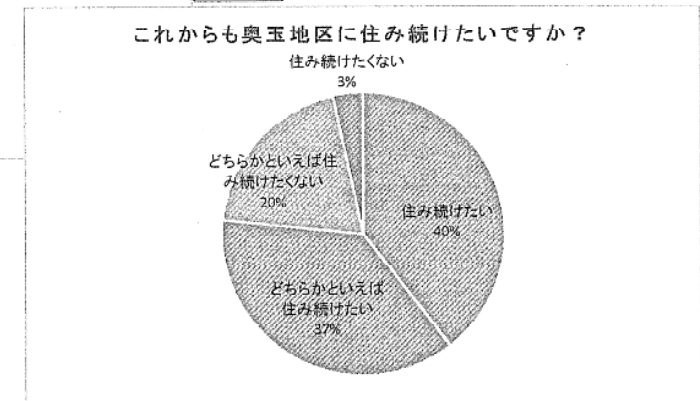
問4



問5



問6



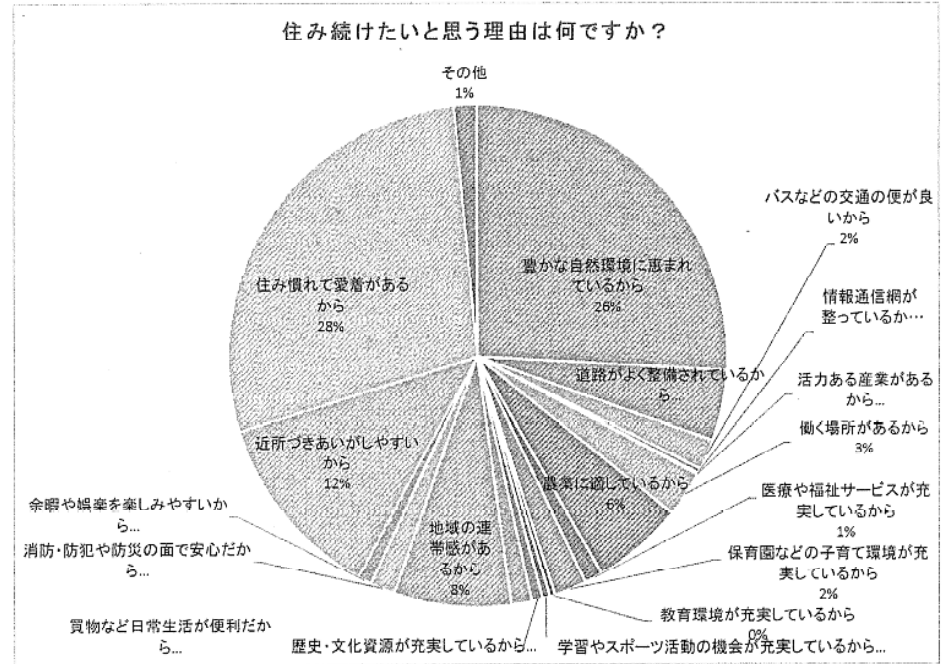
問6-1 住み続けたいと思う理由は何ですか？（3つまで○）

1	豊かな自然環境に恵まれているから	658
2	道路がよく整備されているから	117
3	バスなどの交通の便が良いから	50
4	情報通信網が整っているから	8
5	活力ある産業があるから	2
6	働く場所があるから	75
7	農業に適しているから	150
8	医療や福祉サービスが充実しているから	30
9	保育園などの子育て環境が充実しているから	53
10	教育環境が充実しているから	9
11	学習やスポーツ活動の機会が充実しているから	12
12	歴史・文化資源が充実しているから	18
13	買物など日常生活が便利だから	34
14	地域の連帯感があるから	193
15	消防・防犯や防災の面で安心だから	41
16	余暇や娯楽を楽しみやすいから	23
17	近所づきあいがしやすいから	311
18	住み慣れて愛着があるから	720
19	その他	38
		計 2,542

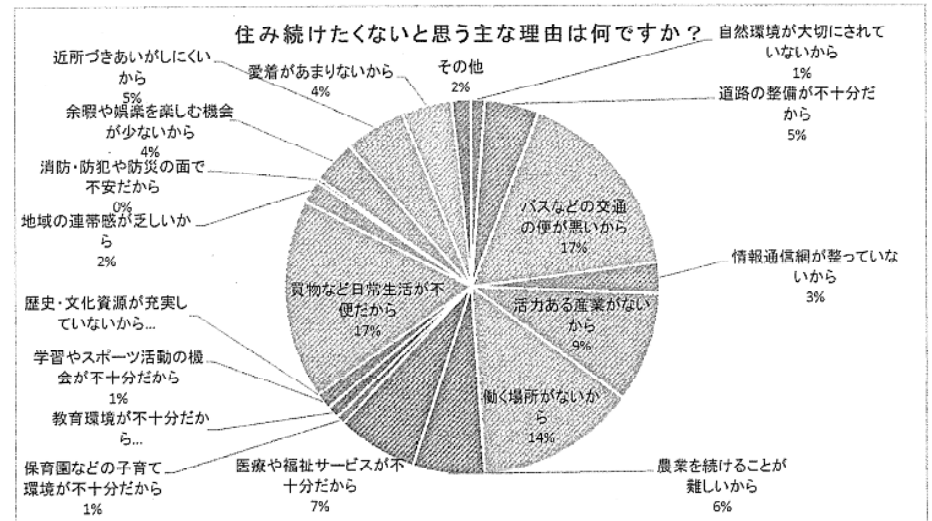
問6-2 住み続けたくないと思う主な理由は何ですか？（3つまで○）

1	自然環境が大切にされていないから	11
2	道路の整備が不十分だから	43
3	バスなどの交通の便が悪いから	157
4	情報通信網が整っていないから	25
5	活力ある産業がないから	87
6	働く場所がないから	127
7	農業を続けることが難しいから	57
8	医療や福祉サービスが不十分だから	64
9	保育園などの子育て環境が不十分だから	7
10	教育環境が不十分だから	10
11	学習やスポーツ活動の機会が不十分だから	13
12	歴史・文化資源が充実していないから	0
13	買物など日常生活が不便だから	159
14	地域の連帯感が乏しいから	18
15	消防・防犯や防災の面で不安だから	3
16	余暇や娯楽を楽しむ機会が少ないから	35
17	近所づきあいがしにくいから	49
18	愛着があまりないから	40
19	その他	15
		計 920

問6-1



問6-2



問7 将来の奥玉地区をどのような地域にしたいですか？(3つまで○)

1	子育てしやすく、子どもたちが明るく成長する、子育て重視の地域	488
2	高齢者や障がい者が安心して暮らせる、福祉重視の地域	674
3	若者による活気やにぎわいを創る、若者重視の地域	272
4	スポーツや健康づくりが盛んな、健康重視の地域	107
5	みんなで支え合う、地域コミュニティの活発な地域	349
6	生涯学習、文化活動など生涯を通じた、学び重視の地域	53
7	地域の歴史、文化を学び、守る、歴史文化伝承重視の地域	38
8	里山や田畑の美しい景観を守る、田園風景重視の地域	249
9	ごみの減量やリサイクル活動に積極的に取り組む、エコ活動重視の地域	73
10	自然が豊かで、うるおいのある生活環境を保つ、自然保全重視の地域	292
11	交通安全や災害に強く、犯罪や事故のない、安心・安全重視の地域	332
12	他の地域や外国の人々との交流など、地域間交流・国際交流重視の地域	54
13	地域の観光資源を有効に活用するなど、観光誘致促進の地域	29
14	バス交通を地域で守るなど、生活関連重視の地域	184
15	地域特産品開発や地域資源を活かした事業を行うなど、地域ブランド化重視の地域	165
16	研究開発や学術交流が活発な、先端科学重視の地域	36
17	その他	21
計		3,416

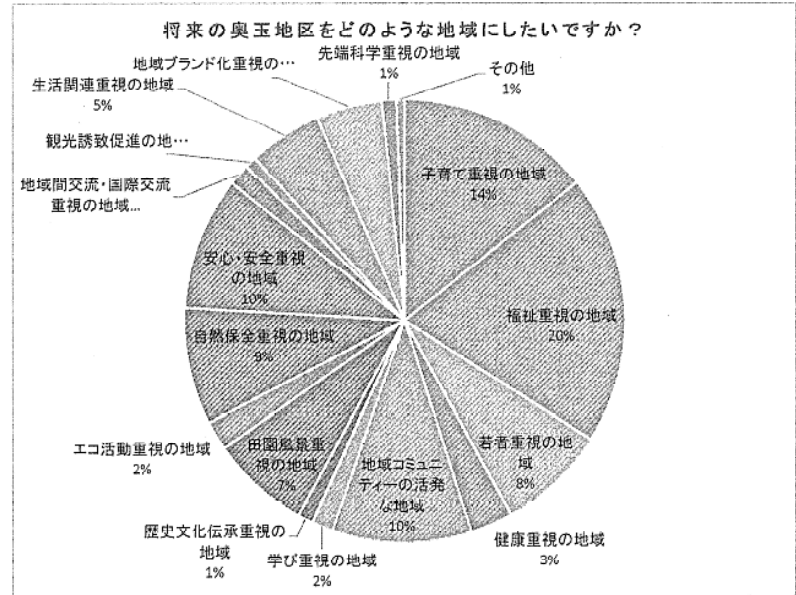
問10 あなたが「奥玉の地域づくりに参加する」とすれば、どのようなことができますか？(3つまで○)

1	奥玉地区の花いっぱい運動や清掃・美化活動	462
2	森や河川などの自然環境の保護活動	298
3	リサイクル活動や省資源活動(エコ活動)	347
4	交通安全に関する活動	155
5	防災・防火に関する活動	139
6	食や運動に関する健康づくり活動	263
7	高齢者や障がい者を介助・支援する活動	258
8	育児ボランティア、子育て相談などの子育て支援活動	106
9	子どもや青少年の健全育成活動	170
10	生涯学習やスポーツ活動の指導や支援に関する活動	96
11	文化・芸術活動の指導や支援に関する活動	79
12	歴史や伝統行事などを守り、育てる活動	108
13	地域の集会施設等の管理を支援する活動	107
14	その他	19
計		2,607

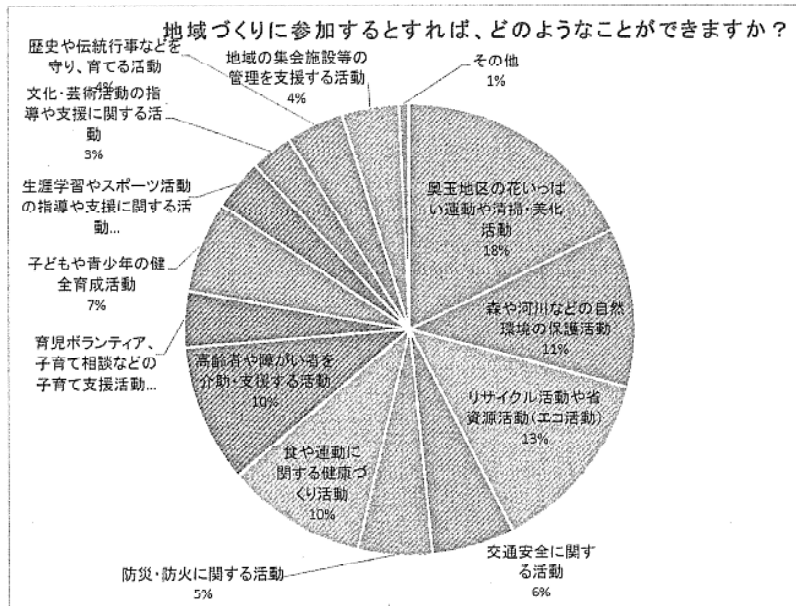
問1.1 活動に参加するとしたら、どのような参加のしかたができますか？(3つまで○)

1	話し合いの場などに参加する	474
2	行事やイベントにできる限り参加する	688
3	参加している行事などに知り合いを誘うように努める	272
4	行事等のポスターの制作やPR活動に協力する	82
5	行事やイベントのアイデアを提供したり企画に参画する	84
6	行事やイベントの運営を手伝う	231
7	自分の持っている知識やノウハウを提供する	144
8	「奥玉」の情報を集めて、発信する	69
9	その他	15
計		2,059

問7



問10



自由記載分

問8 地域でやってもらいたいことや取り組んだ方がよいと思うこと、または支援・協力できることはありますか？(行事やイベントなども含め自由に記入してください。)

記載者数 225名
記載件数 283件 (地域づくり関係、産業・雇用関係、福祉・医療関係など)

問9 あなたは今、生活していて困っていることや不便だと感じることを、課題だと感じていることはありますか？

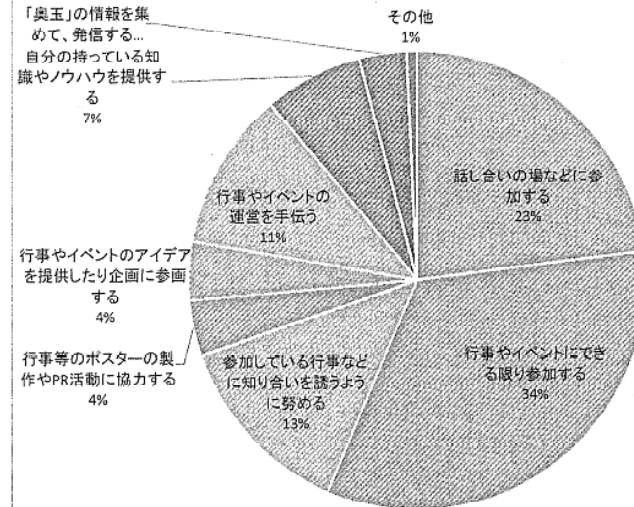
記載者数 328名
記載件数 375件 (産業・雇用関係、バス・交通対策、福祉・医療関係、結婚・子育て対策など)

問1.2 奥玉地区の今後の地域づくりについて、ぜひ意見をお書きください。

記載者数 201名
記載件数 225件 (産業・雇用・生活、地域づくり、教育・文化などに関する意見・提言ほか)

問1.1

活動に参加するとしたら、どのような参加の仕方できますか？



小・中学生アンケートの集計結果（小学生5～6年生、中学生分）

問4 奥玉地区の「良いところ」や「自慢できるところ」

項目	件数
・自然が豊か・緑が多い、森林が多い	45
・田・畑が多い	3
・景色・景観がいい	3
・桜、花がきれい	2
・キャンプ場がある	4
・室根山がきれい・近くに見える	12
・風が気持ちいい	1
・川がきれい、空気や星がきれい	16
・水がおいしい	2
・米、野菜など食べ物おいしい	20
・動物や虫がいっぱいいる	4
・自慢できるものがある	4
・昔の雰囲気がある	4
・歴史や名所がある（櫻森、白藤、三枚山）	11
・楽しく遊べる場所がある	2
・平和、のどか、静か、和やか、事件がない	11
・土地が広い	1
・体験、交流が多い	6
・人がやさしい、親切	11
・みんなが協力する、仲が良い	5
・あいさつを欠かさない	4
・笑顔、元気がある	2
・信号がない	2
・あらたまキッズがある	5
・市民センターが休みも利用しやすい	2
・ボランティア活動が活発	1
・市営バスが通っている	1
件数計	184

問6 もっと住みよい奥玉地区にするためにどんなことをした方が良くと思いますか？

項目	件数
・道路整備、道路の段差をなくす	3
・交差点に信号を付ける	3
・もっとあいさつをする	1
・ゴミを捨てない、ゴミ拾いをする	8
・交通ルールを守る	2
・事故や犯罪がない地域にする	1
・公園をつくる	1
・いろんな行事に取り組む	6
・住民の声をしっかり聴く	4
・自然を壊さないように工事する	5
・お店を増やして奥玉で買い物をする	16
・偉い人、有名な人を呼ぶ	2
・コンビニ、スーパー、ゲームができる場所をつくる	11
・生き物と触れ合える施設をつくる	1
・自然を守り、川を汚さないようにする	1
・みんなで協力して住み楽しめる地域にする	4
・活気が生まれる行事をふやす（小中高生の参加）	3
・ボランティア活動に参加する	3
・特産物を増やし、奥玉から有名人を出す	1
・名所を整備し、丁寧にあつかう	1
・クマ対策の呼びかけをする	1
・公共施設、働く場所を増やす	4
・そのままの地域の良さを残す	1
・人々のふれあい、交流の機会を増やす	2
・都会で奥玉の良さをアピールする	2
・環境整備を毎月行う	4
・生活のルールを守る	4
件数計	95

問5 奥玉地区で「直した方がいい」「変わってほしい」と思うところ

項目	件数
・コンビニ、スーパーがほしい	22
・スポーツ店がほしい	2
・ゲームセンター、お化け屋敷がほしい	4
・ジャニーズショップがほしい、来てほしい	4
・ペットショップがほしい	1
・水族館、遊園地がほしい	3
・公園を増やしてほしい	2
・バスケット、テニスコートがほしい	3
・スケート場がほしい	2
・十字路に信号機がほしい	11
・道路を広く、環境整備をしてほしい	7
・図書館がほしい	1
・美容院がほしい	1
・公民館の遊具を直した方がいい	1
・バスの本数を増やしてほしい	2
・外灯、防犯灯を増やしてほしい	2
・電車を走らせた方がいい	2
・気軽に集まれる場所があればいい	4
・自然や名所を活かした方がいい	4
・ポイ捨てしない	7
・事件、事故が無くなってほしい	5
・人が増えにぎやかになってほしい	3
・あいさつをした方がいい	3
・外出の時、家に鍵をかけること	1
・行事をやるなら回覧板などで伝えた方がいい	1
・行事、イベントに積極的に参加してほしい	3
件数計	101

問7 10年後の奥玉地区がどんなふうになってほしいですか？

項目	件数
・川や森林がそのままかわらない地域に	2
・平和で戦争がない国になってほしい	3
・空を飛ぶ車があってほしい	1
・今と変わらない自然豊かな奥玉であってほしい	12
・きれいな街になってほしい	3
・もっと自然を増やし、残してほしい	16
・きれいな桜を残してほしい	1
・事故や犯罪がない安全安心な町に	4
・ILCが通って、未来化が進んでほしい	4
・室根のまちようになってほしい	1
・いっぱい店が増え住みやすい地域に	11
・みんなで協力しまとまりのある奥玉に	3
・小学校が統合しても地区行事などで利用できるように	1
・小学校の遊具などで遊べるように	1
・広い場所や公園をつくってほしい	3
・交差点に信号がほしい	1
・快適で楽しい地区に	2
・祭りや催しものを増やし活動が活発な地域に	2
・笑顔が多い町！	1
・あいさつが盛んな地域に	1
・自分たちが満足して暮らせる町づくり	1
・人が増え活気あふれる地域に	7
・空き家が少なくなる	1
・働く店や職場を増やしてほしい	1
・とても住みよい環境をつくってほしい	2
・交流が盛んな奥玉に	2
件数計	87

「奥玉振興協議会」 奥玉郷友会の皆様へのアンケート集計結果

H28.8.23現在

配付枚数	28
回答数	23
回収率	82.1%

問1	出身の行政区		
	大平		0
	宝築		1
	中日向		0
	三沢		1
	天ヶ森		5
	町下		5
	寺崎前		1
	花貫		8
	その他		2
	計		23

問2	性別		
	男		11
	女		12
	計		23

問3	年代		
	10歳代		0
	20歳代		0
	30歳代		0
	40歳代		0
	50歳代		1
	60歳代		12
	70歳代		9
	80歳以上		1
	計		23

問4	世帯構成		
	1 ひとり暮らし		0
	2 夫婦のみ		14
	3 二世帯(親と子)同居		6
	4 三世帯(親と子と孫)同居		3
	5 その他		0
	計		23

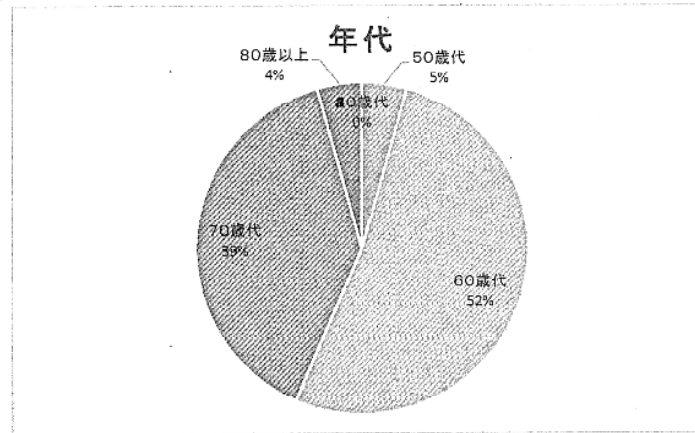
問5 奥玉地区の「住み心地」をどう感じていますか？

	1 良い(快適)		7
	2 どちらかというが良い		14
	3 どちらかというが悪い		2
	4 悪い(不快)		0
	計		23

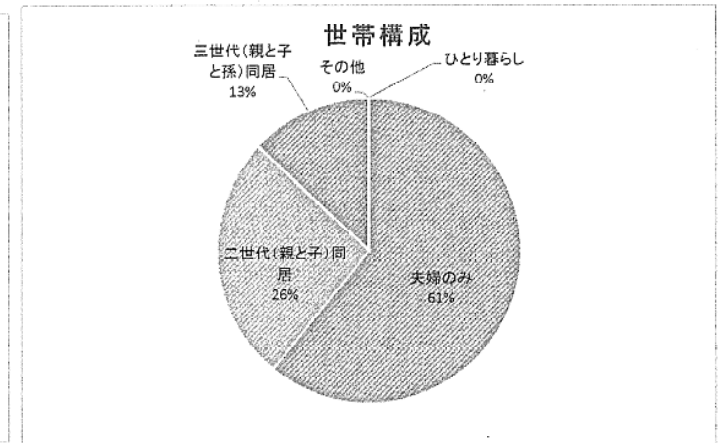
これから奥玉地区に住み続けたいと思いますか？

	1 住み続けたい		0
	2 どちらかといえば住み続けたい		0
	3 どちらかといえば住み続けたくない		0
	4 住み続けたくない		0
	計		0

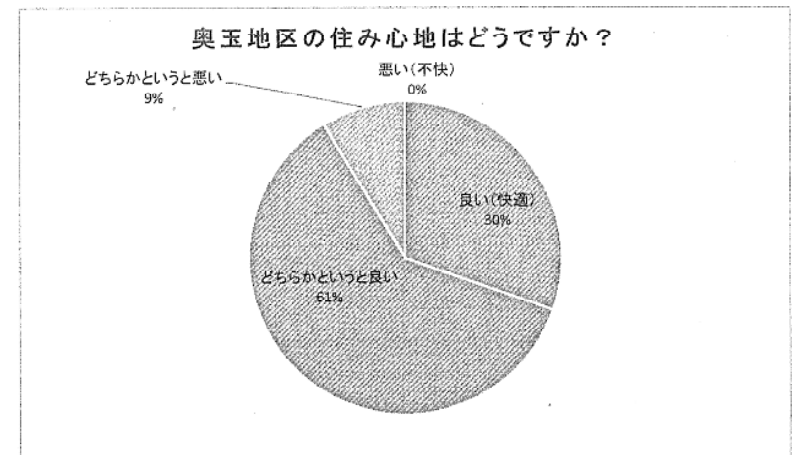
問3



問4



問5



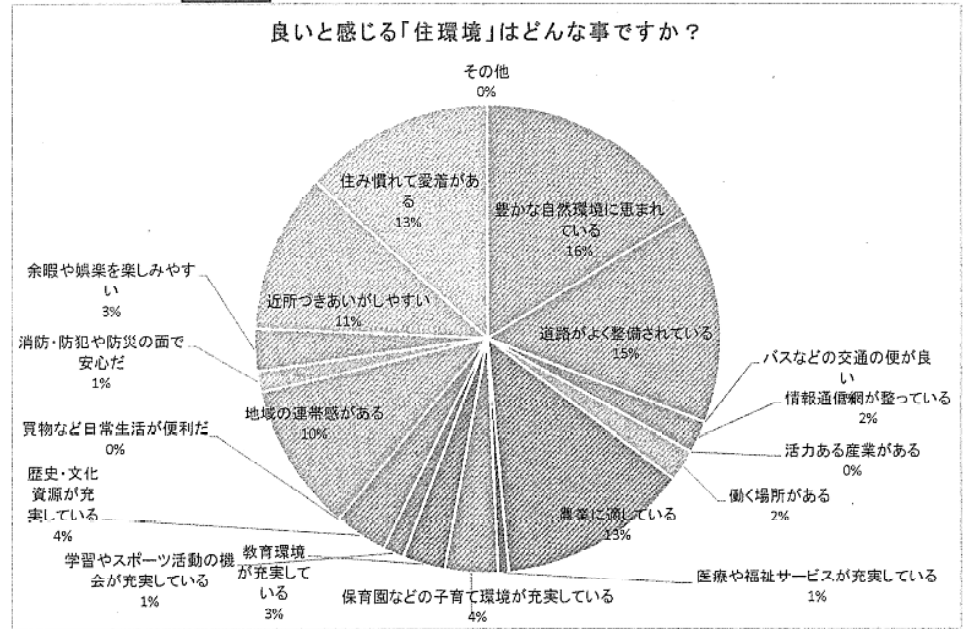
問6-1 奥玉地区の「住環境」などをどのように感じていますか？（良いイメージ）

1	豊かな自然環境に恵まれている	22
2	道路がよく整備されている	20
3	バスなどの交通の便が良い	0
4	情報通信網が整っている	3
5	活力ある産業がある	0
6	働く場所がある	3
7	農業に適している	18
8	医療や福祉サービスが充実している	1
9	保育園などの子育て環境が充実している	5
10	教育環境が充実している	4
11	学習やスポーツ活動の機会が充実している	2
12	歴史・文化資源が充実している	5
13	買物など日常生活が便利だ	0
14	地域の連帯感がある	14
15	消防・防犯や防災の面で安心だ	2
16	余暇や娯楽を楽しむやすい	4
17	近所つきあいがしやすい	15
18	住み慣れて愛着がある	18
	その他	0
計		136

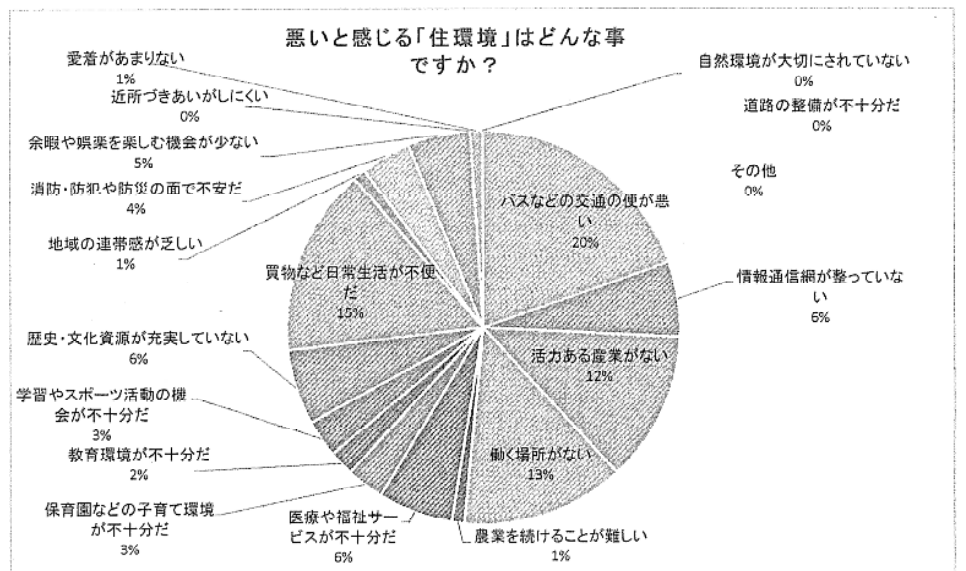
問6-2 奥玉地区の「住環境」などをどのように感じていますか？（悪いイメージ）

1	自然環境が大切にされていない	0
2	道路の整備が不十分だ	0
3	バスなどの交通の便が悪い	19
4	情報通信網が整っていない	6
5	活力ある産業がない	12
6	働く場所がない	13
7	農業を続けることが難しい	1
8	医療や福祉サービスが不十分だ	6
9	保育園などの子育て環境が不十分だ	3
10	教育環境が不十分だ	2
11	学習やスポーツ活動の機会が不十分だ	3
12	歴史・文化資源が充実していない	6
13	買物など日常生活が不便だ	15
14	地域の連帯感が乏しい	1
15	消防・防犯や防災の面で不安だ	4
16	余暇や娯楽を楽しむ機会が少ない	5
17	近所つきあいがしにくい	0
18	愛着があまりない	1
	その他	0
計		97

問6-1



問6-2



問7 将来の奥玉地区がどのような地域になればいいと思いますか？（3つまで○）

1	子育てしやすい、子どもたちが明るく成長する、子育て重視の地域	12
2	高齢者や障がい者が安心して暮らせる、福祉重視の地域	8
3	若者による活気やにぎわいを創る、若者重視の地域	7
4	スポーツや健康づくりが盛んな、健康重視の地域	3
5	みんなで支え合う、地域コミュニティの活弁な地域	8
6	生涯学習、文化活動など生涯を通じた、学び重視の地域	4
7	地域の歴史、文化を学び、守る、歴史文化伝承重視の地域	3
8	里山や田畑の美しい景観を守る、田園風景重視の地域	10
9	ごみの減量やリサイクル活動に積極的に取り組む、エコ活動重視の地域	2
10	自然が豊かで、うるおいのある生活環境を保つ、自然保全重視の地域	3
11	交通安全や災害に強く、犯罪や事故のない、安心・安全重視の地域	1
12	他の地域や外国の人々との交流など、地域間交流・国際交流重視の地域	1
13	地域の観光資源を有効に活用するなど、観光誘致促進の地域	3
14	バス交通を地域で守るなど、生活関連重視の地域	0
15	地域特産品開発や地域資源を活かした事業を行うなど、地域ブランド化重視の地域	3
16	研究開発や学術交流が活弁な、先端科学重視の地域	0
17	その他	1
計		69

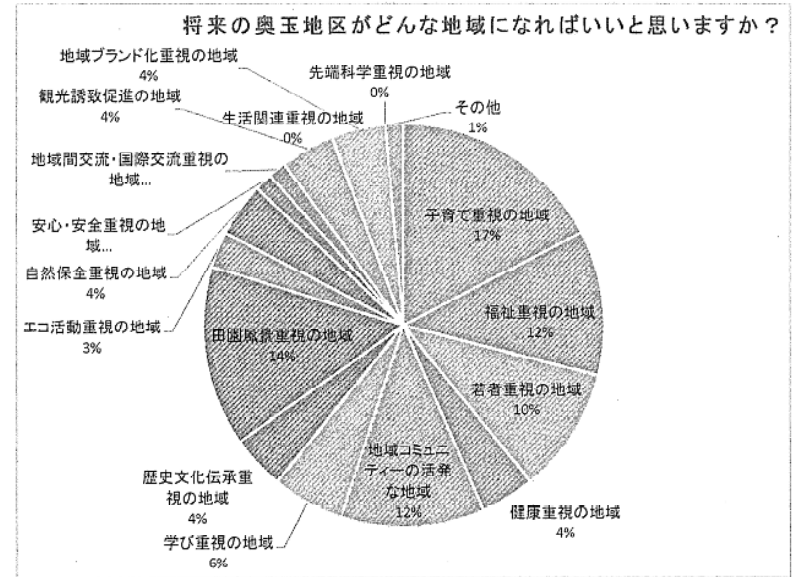
問10 あなたが「奥玉の地域づくりに支援や協力できる」とすれば、どのようなことができますか？（3つまで○）

1	奥玉地区の花いっぱい運動や清掃・美化活動	5
2	森や河川などの自然環境の保護活動	11
3	リサイクル活動や省資源活動（エコ活動）	2
4	交通安全に関する活動	2
5	防災・防火に関する活動	2
6	食や運動に関する健康づくり活動	0
7	高齢者や障がい者を介助・支援する活動	3
8	育児ボランティア、子育て相談などの子育て支援活動	1
9	子どもや青少年の健全育成活動	3
10	生涯学習やスポーツ活動の指導や支援に関する活動	2
11	文化・芸術活動の指導や支援に関する活動	1
12	歴史や伝統行事などを守り、育てる活動	5
13	地域の集会施設等の管理を支援する活動	3
14	その他	1
計		41

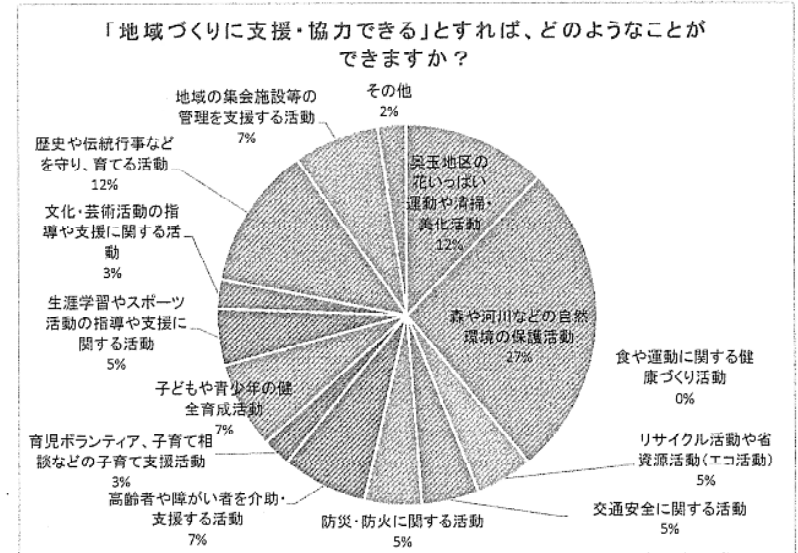
問11 活動に参加するとしたら、どのような参加のしかたができますか？（3つまで○）

1	話し合いの場などに参加する	7
2	行事やイベントにできる限り参加する	7
3	参加している行事などに知り合いを誘うように努める	8
4	行事等のポスターの製作やPR活動に協力する	1
5	行事やイベントのアイデアを提供したり企画に参画する	2
6	行事やイベントの運営を手伝う	0
7	自分の持っている知識やノウハウを提供する	4
8	「奥玉」の情報を集めて、発信する	7
9	その他	1
計		37

問7



問10



自由記載分

問8 奥玉地区でやってもらいたいことや取り組んだ方がよいと思うこと、または支援・協力できることはありますか？(行事やイベントなども含め自由に記入してください。)

記載者数 13名
記載件数 32件 (地域づくり関係7件、産業・雇用関係6件、福祉・医療関係5件ほか)

問9 ふるさと「奥玉」に生活するとしたら困ることや不便だと感じること、課題だと感じていることはありますか？

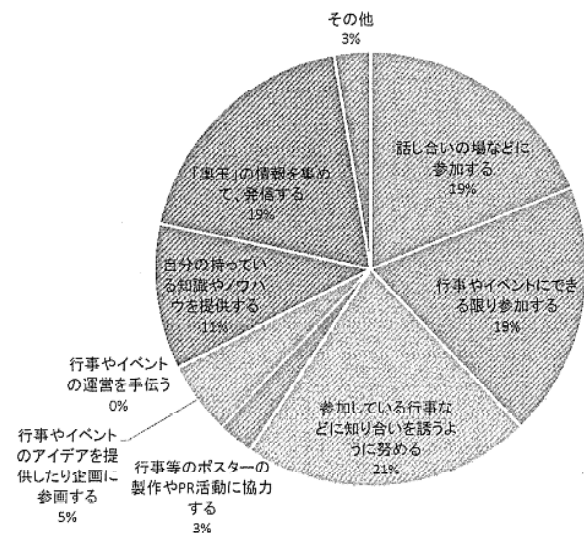
記載者数 12名
記載件数 15件 (バス・交通関係6件、福祉・医療関係4件ほか)

問12 奥玉の地域づくりについて、ぜひあなたの意見をお寄せください。

記載者数 12名
記載件数 45件 (地域づくり・コミュニティ関係に関する意見・提言22件ほか)

問11

活動に参加するとしたら、どのような参加の仕方ができますか？



アンケート調査への御礼

奥玉地域の皆様には地域づくり計画策定にあたり実施したアンケート調査にご協力いただき大変ありがとうございました。また、首都圏在住の奥玉郷友会の会員の皆様方にも、ふるさと奥玉に対する貴重なご意見やご提言を賜り深く感謝申し上げます。お陰様で、集計結果は地域課題の把握・整理や課題解決に向けた取り組み策定についての重要な資料となりました。ここに改めてご協力に感謝申し上げます。
(奥玉振興協議会)

奥玉全図

